

ジュリナ錠 0.5mg

【この薬は？】

販売名	ジュリナ錠 0.5mg Julina tablets 0.5mg
一般名	エストラジオール Estradiol
含有量 (1錠中)	0.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、卵胞ホルモン剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、不足した卵胞ホルモンの一種（エストラジオール）を補うことにより、更年期障害などに伴う症状を軽減します。
- ・この薬は、骨の量の減少を抑制します。
- ・次の病気の人に処方されます。
 - ・ **更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う下記症状**
血管運動神経症状（Hot flush（顔面紅潮）及び発汗）、陰萎縮症状
 - ・ **閉経後骨粗鬆症**
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・エストロゲン依存性悪性腫瘍（乳癌、子宮内膜癌など）のある人またはその疑いのある人
- ・子宮内膜増殖症（治療中あるいは治療が終了していない）のある人
- ・過去に乳癌と診断された人
- ・血栓性静脈炎の人、肺塞栓症の人、または過去にこれらの病気と診断された人
- ・動脈性の血栓塞栓症（冠動脈性心疾患、脳卒中など）のある人、または過去にこれらの病気と診断された人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人および授乳中の人
- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・診断の確定していない異常性器出血のある人
- ・過去にジュリナ錠 0.5mg に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・子宮内膜症のある人
- ・子宮に筋腫のある人
- ・高血圧の人、心臓に病気のある人、または過去にこれらの病気と診断された人
- ・片頭痛のある人、てんかんのある人
- ・糖尿病の人
- ・血縁に乳癌になった人がいる人、乳房にしこりのある人、乳腺症のある人、乳房レントゲン像に異常がみられた人
- ・手術を予定している人、長期間病床にある人
- ・全身性エリテマトーデスの人
- ・ポルフィリン症の人
- ・重篤な高トリグリセリド血症の人
- ・腎臓に病気のある人、または過去にこれらの病気と診断された人
- ・肝臓に障害のある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬の使用前に乳房や婦人科の検査（子宮のある人では子宮内膜細胞診および超音波検査による子宮内膜厚の測定を含む）が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
- ・通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う症状に使用する場合〕

一回量	1錠
飲む回数	1日1回

- ・ 1日1回2錠まで増量されることがあります。

〔閉経後骨粗鬆症に使用する場合〕

一回量	2錠
飲む回数	1日1回

- ・ この薬の使用後6ヵ月～1年後に骨密度の検査が行われます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ 外国において、卵胞ホルモン剤（この薬が属するグループ）と黄体ホルモン剤を併用した場合、その期間が長くなるにしたがって乳癌になる危険性が高くなるとの報告があります。したがって、本剤と黄体ホルモン剤を併用する場合は、その併用の必要性および注意すべき点等について医師から十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・ 定期的に乳房検診ならびに婦人科検診（子宮のある人では子宮内膜細胞診および超音波検査による子宮内膜厚の測定を含む）が行われます。
- ・ この薬を飲み始めてから不正性器出血がおこることがあります。通常は飲み続けているうちになくなりますが、頻発したり長期間にわたって不正性器出血が続く場合があります。このような場合は医師に相談してください。
- ・ 血栓症（下肢の痛みとはれ、突然息苦しくなる、息切れ、胸の痛み、めまい、意識障害、手足のまひ、急激な視力の低下など）があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれたら使用を中止し、ただちに受診してください。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人および授乳中の人はこの薬を使用することはできません。
- ・ セイヨウオトギリソウを含有する食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

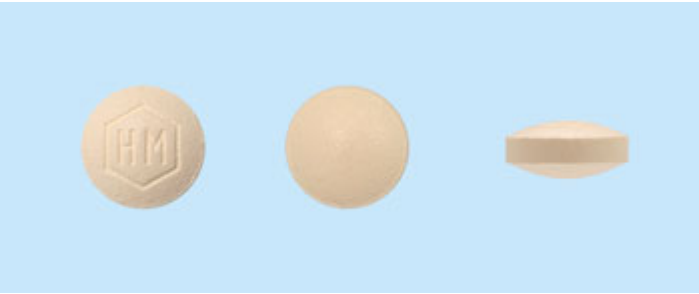
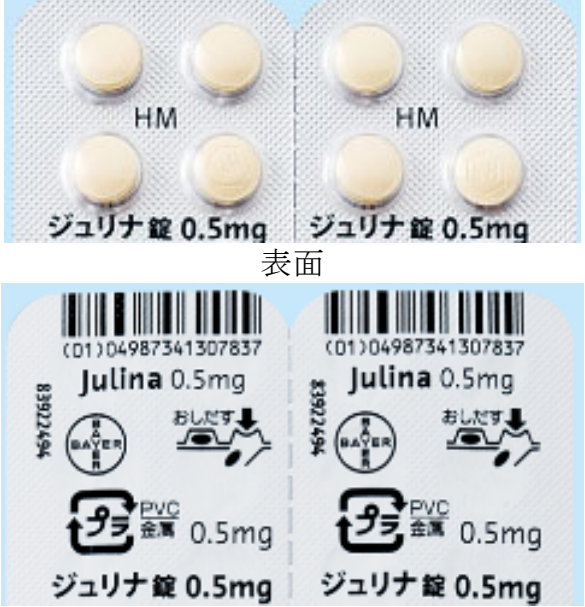
特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
静脈血栓塞栓症 じょうみやくけっせんそく せんしょう	発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ、下肢の痛み
血栓性静脈炎 けっせんせいじょうみやく えん	発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱
口や喉	唇が青紫色になる
手・足	手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ、下肢の痛み
皮膚	皮膚が青紫～暗紫色になる

【この薬の形は？】

形状	<p>円形のフィルムコーティング錠</p> 
PTP シート	 <p>表面</p> <p>裏面</p>
直径	6mm

厚さ	2.85mm
重さ	82mg
色	明るい灰黄色
識別コード	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	エストラジオール
添加剤	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、アルファー化デンプン、ポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、タルク、酸化チタン、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かない場所に保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：バイエル薬品株式会社 (<https://byl.bayer.co.jp/>)

電話0120-106-398

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、弊社休日を除く）